

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

訪問先	日本マイクロソフト株式会社
訪問日時	2025年7月25日(金)
訪問概要・目的	マイクロソフトやIT業界の理解を深め、自らのキャリアを考える。
担当 CVS	CVS 六期生一同
報告書作成者	国際経営学部国際経営学科 2年 船越ゆかり
参加学生数	13人(内、2年生10人、3年生3人)

今回、日本マイクロソフト株式会社の本社に訪問し、企業文化やキャリア等様々な貴重なお話をお伺いしました。金融サービス事業本部の金子様、人事本部の今井様、カスタマーサクセスユニットの松下様、そしてカスタマーサービス&サポートの吉井様の、部署の異なる方々からお話を伺いましたが、皆様が繰り返しおっしゃっていたことは常に挑戦し成長することを求められる、ということでした。その礎となるものが“growth mindset”です。これはマイクロソフトの企業文化の中心に据える考え方で、customer obsessed, diversity inclusion, one Microsoft といった理念が含まれています。この考え方は世界中のすべての人々とビジネスの持つ可能性を最大限にするためのものであり、従業員の方たちが意識しているだけではなくマイクロソフトの戦略であることも事業から伺えます。Microsoft Corporation は世界 119 か国で展開するグローバル企業であり、時価総額は常に世界ランキングの上位に入っています。産業構造が変わってもマイクロソフトが常に世界有数の時価総額を誇るの、たくさんの事業に挑戦しているからだそうです。実は競争に敗れ撤退して事業も多くあるそうですが、その挑戦的な姿勢故に時代が変わっても有力企業であり続け、従業員の方たちも同じように挑戦することができるのだと考えました。お話をしてくださった方々もチャレンジを続けられる環境が楽しく、マイクロソフトならではの経験だとおっしゃっていました。

訪問結果

また、マイクロソフトは AI をあらゆるマイクロソフト製品に搭載することを目標にしているそうで、AI についてもお話をいただきました。AI は急速に普及していますが、それでも更なる普及には課題が多くあるそうです。AI が当たり前になると産業構造などが大きく変わりますが、その変わることを人々や企業は好まず大変なため、アプローチを工夫し漸進的に受け入れてもらう必要があります。また AI の普及について考える際、AI の利用できる領域を考えることとなります。マイクロソフトもすべての領域に AI を導入しようとしているわけではなく、AI が技術的にできることであってもそこに介入していいのか、最後は人間による判断が絶対的です。更に AI が 100%正しくないことを理解し、納得いくまで AI に根気強く問いかけ続けることが重要だそうです。

今回これらのお話を通して、マイクロソフトや IT 業界の魅力を体感し、また仕事を通してどうやって成長を続けることができるかを考える良い機会となりました。参加学生は皆熱心にメモを取りながらお話を聞いていたため学び刺激を受けたようでした。この学びや気付きを心に刻み、今後自身のキャリアについてより深くリアルに考えていきたいです。

※訪問時の写真

日本マイクロソフト株式会社本社の外観



お話を伺う様子



集合写真

